



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵と擁壁を つくります

地元の声

- ・山が近いのでがけ崩れが心配。(地元住民)

事業前

- ◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆防護柵・擁壁をすることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れの被害を軽減します。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

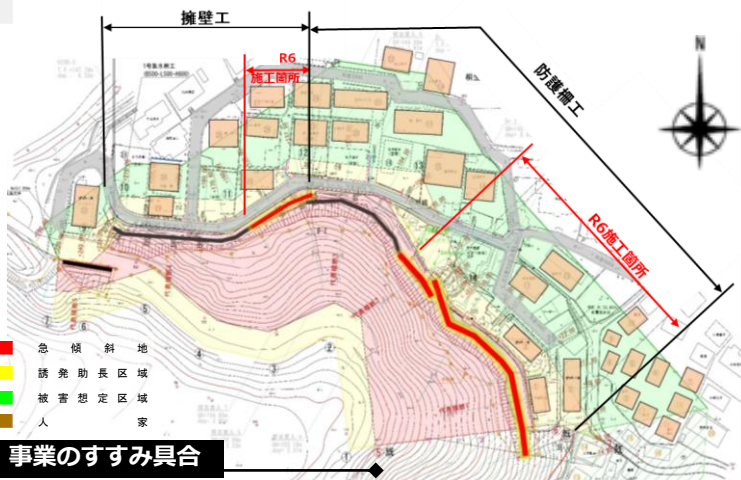
- 事業箇所：桐生市平井町
- 事業内容：防護柵工 延長139m・擁壁工 延長99m
- 事業期間：平成29年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

今、何をしているか

令和6年度は、防護柵工と擁壁工を実施します。



事業のすすみ具合

